

インクルーシブ社会の実現に向けた都市公園の役割
～「山口きららインクルーシブパーク2022」成果報告会～



人の発達とあそび・遊具


YAMAGUCHI UNIVERSITY ▶▶



山口大学 川崎 徳子
山口県セミナーパーク 2023. 3. 27

1

YAMAGUCHI UNIVERSITY ▶▶



- ◆ 乳幼児期の子どもの発達と遊び
～人の発達と遊び～
- ◆ 子どもの遊びと遊具
～インクルーシブな遊び空間に向けて～

2

発達の概念

発達 development
人の誕生から死に至るまでの間の、
心身の形態、構造、機能などが、
量的・質的変化していく過程

上昇的变化 …増大・進歩・向上
下降的变化 …減少・衰退・退化

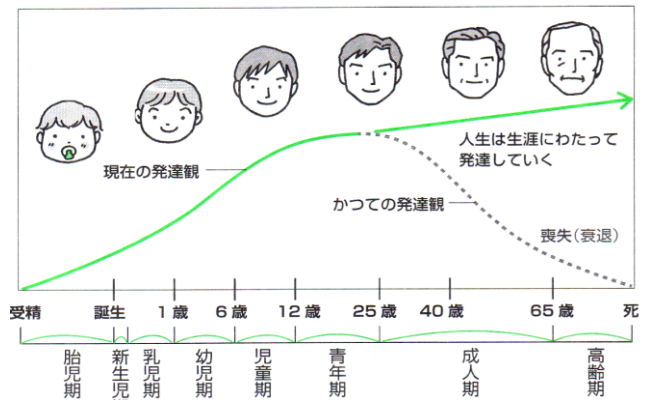
人間は、誕生から、死に至るまで、
環境の影響を受けながら心身両面で絶えず変化
→「生涯発達の発達観」

cf. 発育
身体的側面における量的増大や形態的变化に対して用いられることが多い

3

◆◆ 乳幼児の発達と生活

1980年代～ バルデス 『生涯発達』の発達観



人生は生涯にわたって発達していく

かつての発達観

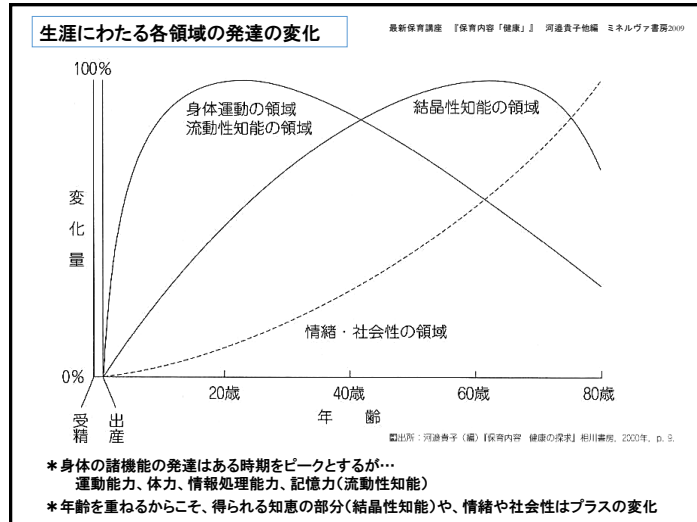
喪失(衰退)

受精 誕生 1歳 6歳 12歳 25歳 40歳 65歳 死

胎児期 新生児期 乳児期 幼児期 児童期 青年期 成人期 高齢期

出典: 手になるように発達心理学がわかる本 小野寺敦子著 かんき出版 2009

4



5

♥ 乳幼児期の発達の特性

生涯の中でも最も成長が著しい時期 身体機能、運動機能、知的面、情緒面

人間形成の基礎が確立

- 発達のスピードが速い
- 個人差が大きい
- 発達の未分化性
- 自己中心性 (主観の客観の未分化)
- 可塑性に富む

図2-2 成長の螺旋軌道—誕生から8歳まで (McGraw, M. B., 1930)

『心理学からみた教育の世界』 1994 監修/藤本三三 編著/笠野秋俊・田頭穂積・福田俊・船山信昭・吉田一誠 北大図書

6

◆ 発達の原理

方向性 順序性

身体・運動機能の発達 Vincent, F.I. (1961) 発達の方向性

- ① 頭部→脚部(上から下へ)尾部勾配
- ② 中心部→末梢部(中から外へ)周辺部勾配

原始反射→随意運動(意思のcontrol、欲求や環境)
粗大運動…全身を使った移動、平衡を保つ運動
微細運動…手指の操作等

思考の発達
具体→抽象 自己中心性→客観性・社会性

心身の全体的発達
未分化→分化・統合

* 発達の速度は異なっても、順序はほとんど一定
例) はう→立つ→歩く →全身運動へ

7

方向性 順序性 連続性 相互関連性
波動性 異速性

■ 全身運動
頭部から尾部へ

首が据わる
寝返り
座る
立ち上がる
歩く

* 次の段階の運動ができるためには、その前の段階の運動を十分にしている必要がある。

1か月 首が据わる。
2〜4か月 2か月を過ぎると首が据わりはじめ、寝返りできるようになる。
4〜6か月 赤ちゃんの姿勢からくりと固まって寝返りをする。寝返りできる。つかまり立ちもできる。
6〜11か月 つかまり立ちをする。
12か月〜1歳6か月 一人で歩く。

『発達と保育』 教育図書, 2000 事例で学ぶ保育内容 (領域)健康 無難陸監修 南文書林 2007

8

分化と統合の過程

乳幼児期の発達
 …いろいろな機能が**統合・分化**を繰り返しながら、
 質的・構造的変化を起こし、新しい全体的体制に統一される。

↓

**身体的、生理的、精神的に
人間らしさの基礎が培われる重要な段階**

内的成熟 ← 外的刺激による学習・経験
 教育 ← 相乗的 環境からの刺激

9

◆ 教育基本法 H18.12公布

第11条 「幼児期の教育」
 幼児期の教育は、**生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの**であることをかんがみ、国及び地方公共団体は、幼児の健やかな成長に資する良好な環境の整備その他の適当な方法によって、その振興に努めなければならない

◆学校教育法 ◆児童福祉法 ◆就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律

■幼稚園教育要領 H29.3 (文部科学省) ■保育所保育指針 H29.3 (厚生労働省)
 ■幼保連携型認定こども園教育・保育要領 H29.3 (内閣府・文部科学省・厚生労働省)

乳幼児期の発達の特性 → 環境を通して行う教育
『健康』『人間関係』『環境』『言葉』『表現』

10

環境
この形、のぼるのは難しいな…
ここは硬いけど、これはふわふわしてる！

**運動、活動
運動的な遊び**
運動能力?! 心と体健康

人間関係
そやれはのぼれるんだねー
一緒にやろう、楽しいねー

言葉
こっちからのぼった方がいいんじゃない? そうだねー。
あそこにも行ってみようよ、いいねー!

表現
こんなことできるよ
こういうのもやってみよう!
見てみてー!

**戸外で遊ぶ
公園で遊ぶ
遊具で遊ぶ**

11

■ 育みたい資質・能力 子どもの育ち・学びを考える

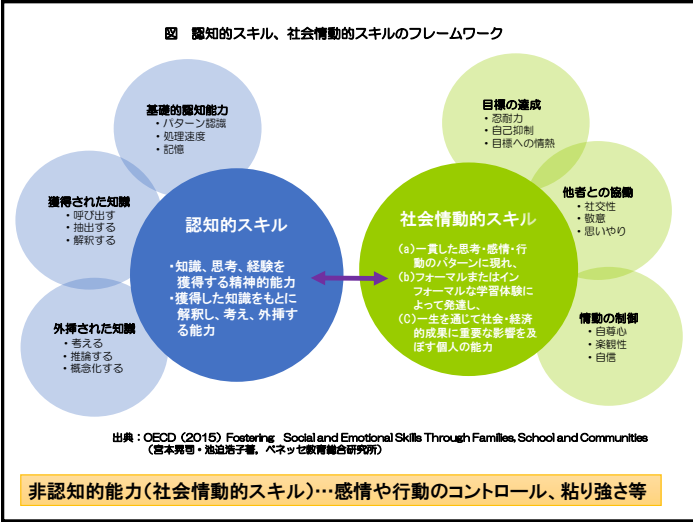
三つの柱(育成すべき資質・能力)

- (1) 何を知っているか、何ができるか**
「個別の知識・技能」
- (2) 知っていること・できることをどう使うか**
「思考力・判断力・表現力等」
- (3) どのように社会・世界と関わり、
よいよい人生を生きるか**
「学びに向かう力・人間性等」
★非認知的な能力(社会情動的スキル)

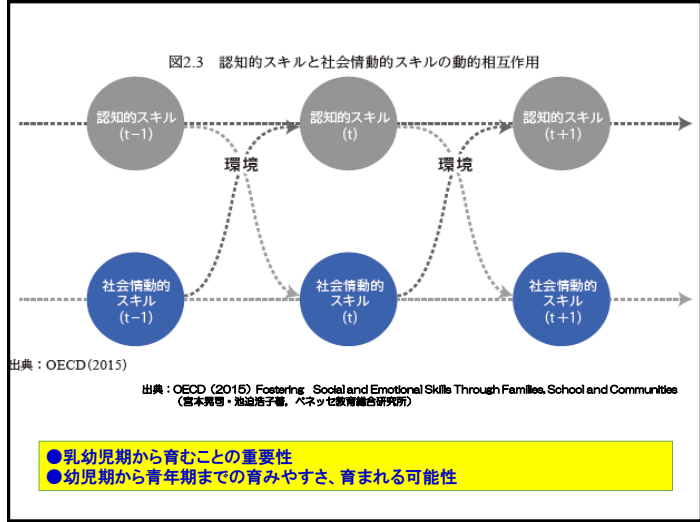
…「資質・能力」は、乳幼児期から始まり、小学校以降18歳までを見通して、**子どもの根幹となる力の育ち**を捉えるもの

↓

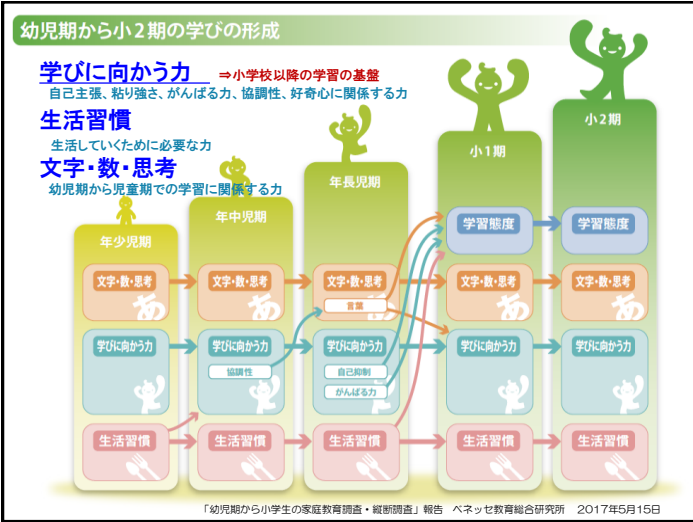
12



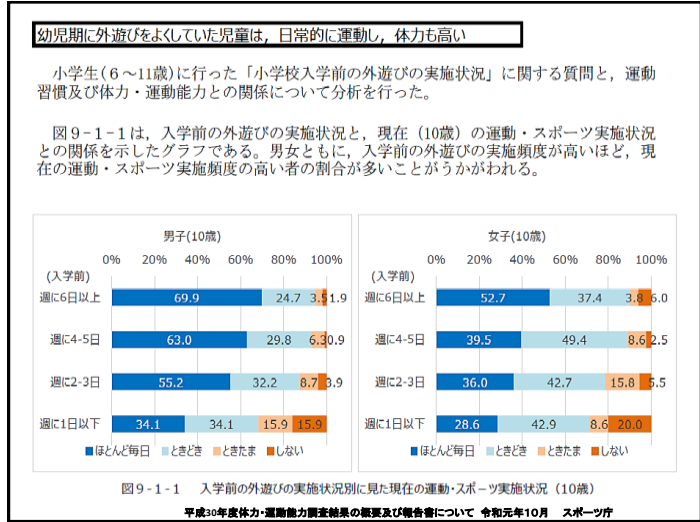
13



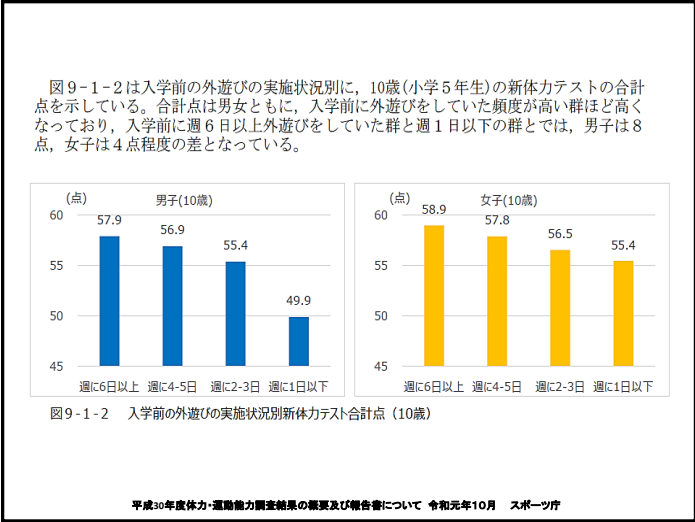
14



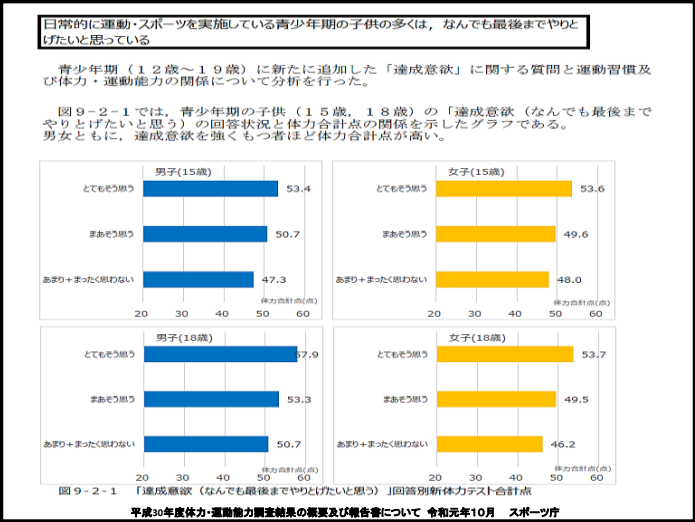
15



16



17



18

◆保育内容 領域「健康」

健康な心と体を育て、
自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う。

1 わらい

(1)明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう

(2)自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする

(3)健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身につけ、見通しをもって行動する。

〈2つの大きな保育内容〉

- * 健康な心と体を育てること
- * 自分も健康で安全な生活を営めるようになっていく

19

2 内容

(1)先生や友達と触れ合い、安定感をもって行動する。

(2)いろいろな遊びの中で十分に体を動かす。

(3)進んで戸外で遊ぶ。

(4)様々な活動に親しみ、楽しんで取り組む。

(5)先生や友達と食べることを楽しみ、食べ物への興味・関心をもつ。

(6)健康な生活のリズムを身につける。

(7)身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を自分でする。

(8)幼稚園における生活の仕方を知り、自分たちで生活の場を整えながら、見通しをもって行動する。

(9)自分の健康に関心を持ち、病気の予防などに必要な活動を進んで行う。

(10)危険な場所、危険な遊び方、災害時などの行動の仕方が分かり、安全に気を付けて行動する。

〈3つの方向性〉

- * 心が安定すること
- * 積極的に体を動かすようになること
- * 健康で安全な生活を営めるようになること

20

3 内容の取扱い

- (1)心と体の健康は、相互に密接に関連があるものであることを踏まえ、幼児が教師や他の幼児との温かい触れ合いの中で、自己の存在感や充実感を味わうことを基盤として、**しなやかな心と体の発達を促すこと**。特に、十分に体を動かす気持ちよさを体験し、自ら体を動かそうとする意欲が育つようにすること。
- (2)様々な遊びの中で、幼児が興味や関心、能力に応じて全身を使って活動することにより、体を動かす楽しさを味わい、**自分の体を大切にしようとする気持ちが育つようにすること**。その際、多様な動きを経験する中で、体の動きを調整するようにすること。
- (3)自然の中で伸び伸びと体を動かして遊ぶことにより、体の諸機能の発達が促されることに留意し、幼児の興味や関心が戸外に向くようにすること。その際、幼児の動線に配慮した園庭や遊具の配置などを工夫すること。

21

3 内容の取扱い

- (4)健康な心と体を育てるためには食育を通じた望ましい食習慣の形成が大切であることを踏まえ、幼児の食生活の実情に配慮し、和やかな雰囲気の中で教師や他の幼児と食べる喜びや楽しさを味わったり、様々な食べ物への興味や関心をもったりするなどし、食の大切さに気付き、進んで食べようとする気持ちが育つようにすること。
- (5)基本的な生活習慣の形成に当たっては、家庭での生活経験に配慮し、幼児の自立心を育て、幼児が他の幼児とかかわりながら主体的な活動を展開する中で、生活に必要な習慣を身に付け、次第に見通しをもって行動できるようにすること。
- (6)安全に関する指導に当たっては、**情緒の安定を図り、遊びを通して安全についての構えを身に付け、危険が場所や事物などが分かり、安全についての理解を深めるようにすること**。また、交通安全の習慣を身につけるようにするとともに、避難訓練などを通して、災害などの緊急時に適切な行動がとれるようにすること。

22

幼児期は、生涯にわたって必要な多くの運動の基となる多様な動きを幅広く獲得する非常に大切な時期である。

幼児期運動指針



幼児期運動指針 平成24年3月
文部科学省

<動きの獲得の二つの方向性>

「動きの多様化」

- 年齢とともに獲得する動きが増大すること
- 体のバランスをとる動き
- 体を移動する動き
- 用具などを操作する動き

*体を動かす遊びや生活経験などを通して、易しい動きから難しい動きへ、一つの動きから類似した動きへと、多様な動きを獲得していく

「動きの洗練化」

年齢とともに基本的な動きの運動の仕方(動作様式)がうまくようになっていくこと

幼児期の初期(3歳から4歳ごろ)

動きに「カミ」や「ぎこちなさ」

適切な運動経験を積むと、年齢とともに

無駄な動きや過剰な動きが減少して
動きが滑らかになり、
目的に合った合理的な動きへ

23

幼少期に身につけたい36の基本動作

体のバランスをとる動き(平衡系動作)

・・・姿勢変化や平行維持の運動



用具を操作する動き・力試しの動き(操作系動作)

・・・モノや自分以外の他者を扱う運動



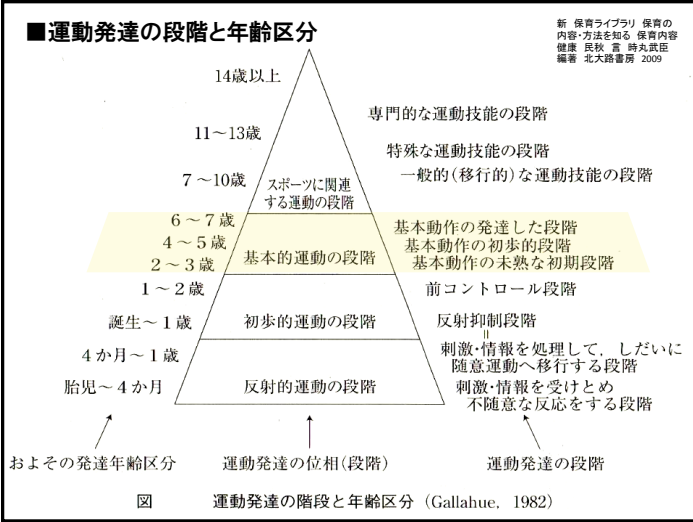
体を移動する動き(移動系動作)

・・・上下、水平方向の移動や回移転移動



<https://www.mizuno.jp/facility/36basicaction/>

24



25

◆ 子どもの遊びと遊具
～インクルーシブな遊び空間に向けて～

26

◆ 幼児期の発達とその特性

人は生まれながらにして、
自然に成長していく力

周囲の環境に**能動的**に
働きかけようとする力

自然な心身の成長に伴い、
能動性を発揮していく環境とかかわり合う中で、
生活に必要な能力や態度などを獲得していく

興味や関心をもったものに対して、
自分からかかわろうとする
→能動性の発揮できる生活、環境が大切

27

環境→行為、動きを導き(能動性・主体性)、
必要な体験、経験を支える

↓

子どもとまわりの事物や人と出会い、つながったとき、
環境として意味を持つてくる。
その子の営みの中で、直接的に**応答し合う環境へ**

●興味や関心をもち、**思わず、かかわりたくなる**
人、もの、事柄がある→**意欲が引き出される**
→**主体的な活動へ**

公園 遊具 遊具のある場→創り出す 時間・空間・人etc.

28

公園にある遊具、遊具の場
...意味を提供していく?!




アフォーダンス(affordance)
環境が提供する意味


アメリカの知覚心理学者
ジェームズ・J・ギブソンによる造語

29

◆乳幼児期の子どもの育ちを支える「環境」とは…

生活 = 遊び

育ちを促し、学びをつくる
人間形成の基礎



物的環境 …遊具、用具、素材etc.
人的環境 …子ども同士、保育者、保護者etc
抽象的な環境 …自然、自然事象・社会事象、
文字、数量…
空間・時間・雰囲気etc.
(人や物が相互に関連合っかもし出すもの)

[モノ・ヒト・コト・その他]★乳幼児を取り巻くすべてのもの

30

◆遊具を使って遊ぶ 総合的に育つ・学ぶ

こころ
あたま からだ



・微細な身体の動き、力加減、左右の動きのバランス…etc
・友達の動きに自分の動きを合わせる、タイミング…etc


* 目で見て、腕や手先、身体を使い、繰り返しながら遊びの中で、
微妙な動きの調整を体で知っていく。

31

◆自分の遊びと自分の時間 ～人とのかわり育む

●友達のしていることを見ることで、意欲が引き出される

●伝播、刺激、動きを共有
教え合う、一緒にイメージを広げる
手伝う、協力する →協同的な遊びの経験へ



・自分以外の他者にも
思いがあることを感じる
・他者の思いを考える
・他者と一緒に過ごす
・社会生活

32



33

<遊具の役割>

- ① **子どもの様々な動きを引き出す** (体の基本的な動き～全身運動)
登る、降りる、くぐる、揺れる、ぶらさがる、滑る、わたる
前後、左右、上下など移動を伴う
- ② **進んで戸外で遊ぼうという気持ちを引き出す環境**
遊具を楽しみに外にでる
遊具で遊ぶことでいろいろな動きやかかわりが生まれる
- ③ **様々な感覚や思考を刺激する体験がある**
スピード感、スリル、高所での視界の広がり、
達成感、満足感、他の友達の姿、イメージの広がり…
人とのかかわりで必要な体験→順番、交替、ルール…

★**時として、安定の拠り所となる**
気持ちが落ち着く、気持ちを立て直す、一人の時間

35

◆1つの活動や遊びが…

1つの活動や遊びは
いくつもの姿につながっていて、
様々なことに気づき、工夫したり、試したり、…

自分でやってみることでできる環境を保障する

1つの遊びや活動
『**顕在的な意味と潜在的な意味をもたらす**』 [小田豊「幼稚園じほう(10月号)」1996]

顕在的な意味 …その活動であるから経験できること

潜在的な意味 …活動の持つ特性を超えて、子どもの内面に変容をもたらすもの
(仲間関係 自己の内面の変容、集中力等非認知的な能力etc…)
活動の内容が変わっても連続していくもの

34

◆ **安心・安全な環境 と 遊びの中で育む安全の意識**

- **自分の体を知る。自分のことを知る。**
どこまでなら、自分ができるかを知る→**自分の体を守る**
- **安全な遊び方を知る**
★**遊具に適した使い方、身の振る舞いを知る**
・これ以上高いと…、後ろ向きで降りる、順番に待つ…
・鉄棒で、握り手を知る(親指をかける)…
★**危ない動きや動作を知る**
・周りの状況を見ながら(危ないか)、確認してやる…
*守るためのルールではなく…、みんなで心地よく、楽しく過ごすために
- **自分で使う、試みる、造る、繰り返す、集中**
自分で扱うことで、遊具の特性に気付いていく
遊ぶ楽しさや遊ぶ場を自分たちでつくる楽しさ
遊びたいという気持ち、能動性を引き出す環境

36

乳幼児期の子ども⇒身の回りのもの全てが遊具になる!!

身体の話感覚を使って、環境と出会い、取り入れ、表現する
感覚や動きに照らして環境・遊具を吟味する

- 様々な素材との出会い、触れ合い
- 色、形、手触り、大きさ、硬さ、重さ…
音(大きさ、質、響き…)
- いろいろな動きと体、遊び
- じっくりと関わる喜び

視覚、触感覚、聴覚、臭覚、など、
 様々な感覚を使って
感じて、確かめて、試して、考えて、…

37

◆自然とのかかわりとともに ー公園 遊具のある空間

戸外の環境の中では、運動的な遊び以外の場面でも、
子どもが心を動かし身近な環境とかかわる中で、十分に体を動かす遊びもたくさんある。

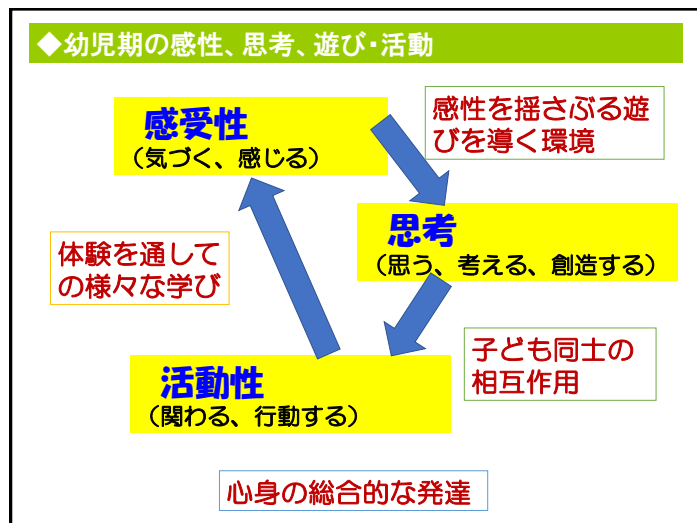
自然の変化や力、不思議さ、(草花や生き物、風、音、香り…)
 ⇒ **子どもの心を揺さぶり、動きを引き出す**

- ・体を使って、…試す、発見する、感覚を通して周りの世界を理解する
- ・自分のイメージとつなげて、遊びに発展させる

●生活の中で、自然と触れ合いながら、さまざまな遊びが展開する

集める、手に入れる、探す、 …没頭して取り組む
 協力して集める、一緒には運ぶ …かかわりや協同、
 全身を使う大きな動き

38



39

◆子どもの遊びの様態 (好きな遊びや活動)

- 自分の興味・関心から環境に関わり、世界を広げていく
 乳幼児期の発達の特性 能動性、自己中心性…
- 子どもは、互いの遊びの状況を意識しながら遊ぶ
 *同じ場に居る子どもは、別の遊びをしているようでありながら、アンテナをはって、近くの遊びの情報を自分の中に取り込む。
遊びは、互いに影響し合う。

↓

★保育者、大人が予想しない動きが生まれる
 ★大人の願いと子どもの姿との間にズレが生じる

子どもの豊かな体験を受け止め、
 創造的に遊びが展開できる時間や空間の確保

40

◆ 遊びと表現

子どもの遊びや行為は、表現である

乳幼児期の子ども 身体的、音楽的、造形的な遊び
 生活の中で、水、砂、土、紙、粘土など、様々な素材に触れる
 音、形、色、手ざわり、動きなどに、気づき、感じて楽しむ

→ **全身で周囲の世界に関わり、様々な感覚を
 味わいながら「知」に向かう姿**

探索活動
 知りたい、わかりたい、できるようになりたい→行動したい
 心に湧き上がることを周囲の人に伝えたい→**表現の原動力**へ

**遊びを通じて、よりよい在り方を探ること
 →自分の行為を通じて、よりよい生き方を探ること?!**

41

1. なぜの外遊びを重視するのか

幼稚園教育要領・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領
 内容 (3)進んで戸外であそぶ

①現代の子どもにとって、安心して遊べる戸外環境

②戸外でさまざまに体を動かして遊ぶことは、
 身体諸機能を発達させる。

③戸外遊びには、
 心が動く体験、心が育つ場面がたくさんある。

42

2. 魅力的な戸外環境をつくる

★戸外環境には、心や体を解放させてくれる働きが備わっている。

太陽の光、緑の木々、広い空間、青い空…
 固定遊具(ジャングルジム、滑り台、砂場…)
 地形、水、草花、木立、生き物…

<公園の環境>

- 自然環境、植栽(木々、季節の花、雑草…)
- 固定遊具(様々な年齢、各々の遊び、空間に応じた遊具配置、種類)
- 遊び空間のデザイン(動線、ものの配置) ⇒メンテナンス
- いろいろな人との出会い

43

◆遊びに没頭し、『遊び込む』ことで
 様々な側面の発達が促される

- ①好奇心
 …運動機能を高め、新陳代謝を促進し、身体の発達を促す
- ②自主性、意欲、自律性
- ③観察力、洞察力、思考力、想像力、創造性
- ④自己充実感、自己達成感、
 内的世界の充実 ⇒ 自信、自己肯定完 生きる基礎
- ⑤人間関係調整能力、
 我慢する態度、社会性

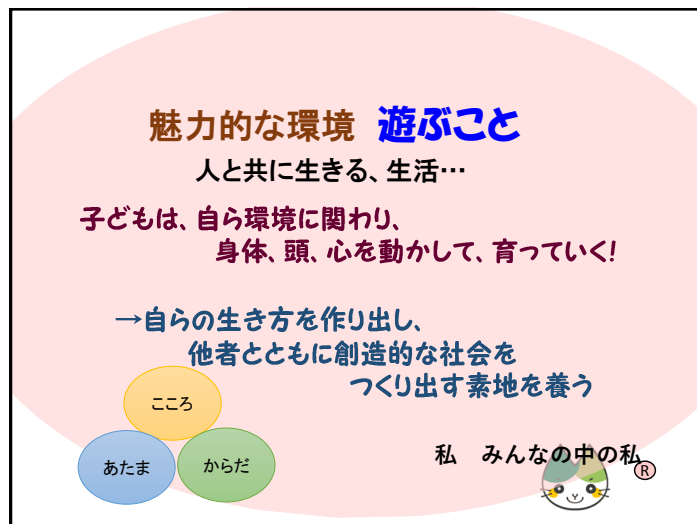
44



45



46



47



48